



「セカンド・フラッシュ」展の開催について

岐阜県美術館は、リニューアル休館を機に館を飛び出し、アートプロジェクトやアーティスト・イン・レジデンスに取り組みました。今回、その経験や作品を糧として、葉が生い育ち、香り立つように、4組の作家がリニューアルした美術館で発表をします。

今、多様な人々が生きる社会の拠点として、美術館の果たす役割はますます大きくなっています。アートとは、未来を予見し、問題提起をするもの。そしてまた、人々や価値観を繋ぎ、場をつくることもできます。休館中に試みた新しいアートプロジェクトやアーティスト・イン・レジデンスが、一番摘み「ファースト・フラッシュ」だとすると、季節が巡り、“コク”も“味”も一層充実した本展「セカンド・フラッシュ」は、サイトスペシフィックな表現を美術館でいかに結晶化するかの挑戦であり、あの特別な出来事を分かち合いたいという願いでもあります。

時間と共に熟成し、収穫された「セカンド・フラッシュ」が醸し出す味わいをどうぞお楽しみ下さい。

セカンド・フラッシュ【second flush】は、紅茶の収穫期を表す言葉です。瑞々しくさわやかなファースト・フラッシュの次に摘まれ、芳醇で豊かな味わいが特徴です。

flushとは、「芽吹き、ほとぼしりであること」。本展では、作品の輝きや光をイメージさせる「閃光、ひらめき」の flash と音を重ねています。

1 会 期 令和元年11月3日（日・祝）～令和2年1月5日（日）
10:00～18:00（入場は17:30まで）
休館日：毎週月曜日（祝・休日の場合は翌平日）、12月23日（月）～1月3日（金）
夜間開館日：11月15日（金）、12月20日（金）は20:00まで開館（入場は19:30まで）

2 会 場 岐阜県美術館 住所：岐阜県岐阜市宇佐4-1-22

3 入場料 無料

4 主 催 岐阜県美術館

5 出展作家／作品

Nadegata Instant Party(中崎透+山城大督+野田智子)×養老公園

(NAKAZAKI Tohru+YAMASHIRO Daisuke+NODA Tomoko)

2006年より活動を開始。「場」が変化する過程や体験を重視し、映像や演劇的手法などを組み合わせる作品で高く評価される。

「アートまるケット 2018 養老公園プロジェクト Parking Promenade」(2018)では、《養老天命反転地》を引用し、野外プロジェクトの可能性を示した解放感と機知溢れる体験型作品を、美術館の展示室に凝縮する。



「アートまるケット 2018 Nadegata Instant 養老公園プロジェクトパーキング・プロムナード/Parking Promenade(2018)

平野真美×岐阜県立岐阜盲学校

HIRANO Mami

1989年 岐阜県出身。ユニコーンの骨格・内臓から毛皮まで、身体を構成するあらゆる部位を精巧につくり、生命維持装置をつなぎ蘇生を目指す作品をライフワークとする。

「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」(2018)での視覚を巡る思索を、新作の半立体タピスリーとユニコーンや盲学校の生徒作品を使いながら探求する。



「アーティスト・イン・ミュージアム 平野真美 Meets 岐阜県立岐阜盲学校」(2018)

松本和子×北方町生涯学習センターきらり

MATSUMOTO Kazuko

1988年 大阪府出身。水や砂や石灰といった自然素材を使うフレスコ技法を用いて、きらめく光や吹き抜ける風、人の気配が漂う室内風景を独特の詩情で描く。

「アーティスト・イン・ミュージアム 松本和子 Meets 北方町生涯学習センターきらり」(2019)で制作した壁画をもとに、表層を剥ぎ取るストラップ技法を応用し、重層的な空間表現を試みる。



「アーティスト・イン・ミュージアム 松本和子 Meets 北方町生涯学習センターきらり」(2019)

宮田篤+笹萌恵×岐阜県図書館

MIYATA Atsushi+SASA Moe

2009年より活動を始める。お話の続きを地域住民と相談する連載マンガなど、“仕組みや仕掛け”によって生じる他者とのイメージのずれや重なりを作品のきっかけとしている。

「アーティスト・イン・ミュージアム 宮田篤+笹萌恵 Meets 岐阜県図書館」(2019)から連続する本展では、言葉のイメージが変容していく《微分帖》を、時間・空間的にひろげるやりとりを企む。



「アーティスト・イン・ミュージアム 宮田篤+笹萌恵 Meets 岐阜県図書館」(2019)

6 関連プログラム

◆出品作家4組のリレートーク

日時：11月3日(日・祝) 13:00~14:00

会場：展示室3ほか

出演作家：Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)、平野真美、松本和子、宮田篤+笹萌恵

リニューアルオープンイベント「楽美初日」と併せてお楽しみください。



Nadegata Instant Party



平野真美



松本和子



宮田篤+笹萌恵 (撮影：許力静)

◆アートまるケット「岐阜の食でおいしさまるケ」再び！フードショップ特別出店

日 時：11月3日（日・祝） 10：00～（売り切れ次第終了）
会 場：多目的ホール
企 画：岐阜県美術館後援会
出 店：ちょいみせキッチン、いぶき福祉会

美術館にできた新たなカフェスペースで真っ先に味わって。



ちょいみせキッチンの特製猫クッキー
（売り切れの場合があります）

◆カジュアルトーク 松本和子×北方町の方々

日 時：11月4日（月・振休） 14：00～15：00
会 場：多目的ホール

作家が滞在したホストファミリーや美術館サポーター、制作の過程を見つめた北方町の人々が美術館で再会します。



北方町生涯学習センターきらり滞制作をしながら交流をする松本和子

◆紅茶を楽しむTea Party！ ワークショップ

日 時：11月23日（土・祝） 14：00～16：00
会 場：多目的ホール
定 員：12人
参加費：1,800円
申込方法：岐阜県美術館Webサイトから申込み。11月8日（金）締切。申し込み多数の場合は抽選。

様々なフレーバーの香りと味から、あなただけの紅茶を見つけましょう。



フレーバーティーのリーフ

◆ギャラリートーク 担当学芸員といっしょにセカンド・フラッシュ（展）を味わおう！

日 時：12月20日（金） 18：30～19：00
会 場：展示室3ほか
担 当：岐阜県美術館学芸員 鳥羽都子

学芸員が作品を案内します。

◆カジュアルトーク Ndegata Instant Party×平林恵（横尾忠則現代美術館学芸員）、福井清治（養老町立上多度小学校校長）

日 時：12月21日（土） 14：00～15：30
会 場：多目的ホール

荒川修作の《養老天命反転地》を知悉する学芸員、全校児童が作品を訪れた地元小学校の校長、作家のクロストーク

◆平野真美×ナンヤローネ アートツアー

日 時：12月22日（日） 14：00～15：30（受付13：30～）
集 合：多目的ホール

視覚に頼らない鑑賞体験ができるプログラムです。作品のどんな部分に何を感じているのか、体験したことをもとに表します。

◆宮田篤+笹萌恵ワークショップ おはなしあそび 微分帖

日 時：1月4日（土） 13：30～15：30
会 場：展示会場
参加費、事前申込不要。時間内入退出自由。

作家と実際に《微分帖》で遊べます。

《微分帖》は、複数人でお話を繋げるしくみの作品です。1番目の人が書いたお話に、2番目の人が間に話を繋げます。前の人
が書いたものを受け取り、繋げることで、予想外の展開のお話が
生まれます。



岐阜県図書館で滞在制作をしながら、微分帖づくりを
来場者と楽しむ宮田篤+笹萌恵

7 問い合わせ(掲載用)

岐阜県美術館（058-271-1313），<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp>

【本企画の広報に関する問合せ】

電話番号 直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315
岐阜県美術館 教育普及係 中上 敦士 学芸係 鳥羽 都子